

会合開催に向けて情報発信を本格化

● 木村つづくさんに「G7宮崎広報PR大使」を委嘱

テレビやラジオで活躍されている木村つづくさんに「G7宮崎広報PR大使」を委嘱しました。宮崎の食を愛し、農業や生産者への理解・関心も深い木村さんには、県民の皆さんに向けて会合の意義をはじめ食や農の魅力等を分かりやすく伝えていただくことを期待しています。



● テレビCM（見つめなおそう、私たちの食と農）を放映開始

2月14日（火）から放映を開始しました。会合をきっかけに私たちに身近な食と農について考えていただくため、「見つめなおそう、私たちの食と農」というメッセージを木村つづくさんのナレーションで発信中です。

同CMは、アミュプラザみやざきアミュひろばのデジタルサイネージでも放映しています。

● 3種類のポスターを作成

ポスターは、「広報デザイン日本語版」と「同英語版」の2種類、「高校生デザイン」1種類を製作し、各所に配布しています。

(左：広報デザイン日本語版
中央：同英語版 右：高校生デザイン)



● 侍ジャパン宮崎キャンプにG7ブースを設置

宮崎ゆかりの選手直筆サイン入りカウントダウンボードが目印

WBC宮崎キャンプのブースにカウントダウンボードを設置しています。ボードには、宮崎でキャンプを行う本県ゆかりの選手の直筆サインもありますよ。来場の記念に、写真を撮ってみませんか？

○ブース運営期間

令和5年2月17日（金）から27日（月）まで

※平日 午前9時～午後4時

土日祝 午前8時～午後4時

※20日（月）と24日（金）のキャンプ休養日を除く

○場所

ひなたサンマリスタジアム宮崎 イベントブース

○サイン記入選手

- (1) 戸郷 翔征選手（読売ジャイアンツ：聖心ウルスラ学園高校卒）
- (2) 武田 翔太選手（福岡ソフトバンクホークス：宮崎日大高校卒）
- (3) 山本 由伸選手（オリックス・バファローズ：都城高校卒）

○ブース内容

- ・（常設）カウントダウンボードの設置、パネル展示、パンフレット等の配布
- ・（土日祝のみ）輪投げイベント



「G7宮崎農業大臣会合開催記念 農業シンポジウム～未来につながる持続可能なみやざき農業の実現に向けて～」を開催

2月16日（木）、J A・A Z Mホール（宮崎市）にて、県内の農業関係者が一堂に会する記念シンポジウムが開催されました。

参加者は200名を超え、農林水産省輸出・国際局審議官の谷村栄二氏（宮崎市出身）による基調講演、県（農政水産部次長 菓子野利浩）による活動報告、宮崎県農協青年組織協議会副委員長の坂本裕之氏による事例発表が行われたほか、谷村氏、坂本氏及び一般社団法人宮崎県農業法人経営者協会会長の香川憲一氏が参加してパネルディスカッション（コーディネーター：菓子野次長）が行われました。

また、宮崎県農協青年組織協議会委員長の長渡孝太氏と香川氏による「行動宣言」の採択も行われ、我が国の生命産業である農業を未来につないでいくため、農業者として一致団結し、持続可能なみやざき農業に向けて行動することが確認されました。

J A宮崎中央会の福良公一会長からは、閉会のあいさつの中で、ピンチをチャンスに変えていく覚悟や、広く県民・国民の理解を得る努力が必要とのお言葉もありました。



（講師、発表者、パネラーの皆さま）



（行動宣言の採択）

「高校生の提言」プロジェクト進行中

会合に向けて、県立高校14校から選ばれた20名の高校生が食や農業について議論を行い、提言をまとめ、自ら世界に発信する「高校生の提言」プロジェクトが進行しています。

第4回となる2月11日（土）は、提案に向けた「新たな気づき」を得るため、以下の農業関連施設等を訪問し、現場見学や農業体験のほか、意見交換やインタビュー等を行いました。今後の提言にどう生かされるのか楽しみです。

- ① スマート農業コース：A G R I S T株式会社（新富町）
～収穫体験（ピーマン）、収穫ロボット・環境制御見学
- ② 有機農業コース：松井農園（綾町）
～農場見学、収穫体験（ニンジン）、ニンジンジュース試飲
- ③ 地域資源循環コース：本部農場（新富町）
～施設見学（搾乳ロボット、バイオガスプラント）、搾乳体験
- ④ 食育・伝統農業コース：A K A S A K A f a r m（宮崎市田野町）
～大根やぐら体験、収穫体験（ニンジン、ダイコン）

（写真は左から、①～④の様子）



「拝啓、ふるさとの^{きみ}後輩に」農林水産省谷村審議官による出前講座を実施

2月15日(水)宮崎第一中学校、2月16日(木)宮崎市立清武小学校で、農林水産省輸出・国際局審議官の谷村栄二氏による出前講座を実施しました。谷村氏は、宮崎市清武町出身で、現在、農林水産省で会合準備の責任者となっています。

講演では、なぜ会合が注目されているのか等について説明があり、宮崎第一中学校では終了後も生徒たちから活発に質問が行われ、宮崎市立清武小学校では「食品ロスや生産者の思いもロスしていることを意識して、今日から好き嫌いをなくすなど実践していきたい」との発言がある等、子どもたちがより一層食と農への関心を深める良いきっかけとなりました。



(左 宮崎第一中学校
右：宮崎市立清武小学校)

在京都フランス総領事ジュール・イルマン氏による国際理解講座「びっくりフランス」を実施

2月6日(月)宮崎市立赤江東中学校で、在京都フランス総領事ジュール・イルマン氏による国際理解講座「びっくりフランス」を実施しました。講座では、総領事からフランスの社会・文化や日本との関わりについて話されたほか、協議会よりG7宮崎農業大臣会合についても説明し、会合に係る機運醸成と若い世代の国際理解の促進を図りました。生徒たちの興味津々な様子が印象的でした。

また、総領事へは、生徒たちが製作した宮崎を紹介する英語のパンフレットが贈呈されるなど、生徒たちによる国際色豊かなおもてなしが行われました。



「花の祭典2023」にG7ブースを設置

2月4日(土)、5日(日)イオンモール宮崎において開催された「花の祭典2023」に、G7ブースを設置しました。ブースでは、「カウントダウンボード(花の祭典特別バージョン)」をお披露目。また、胡蝶蘭、ミニガーベラなどの県産花があたるお楽しみイベントを実施し、3,500人以上の皆さまが来場されました。

また、メインステージでは、「G7宮崎農業大臣会合絵画・ポスターコンクール」最優秀賞受賞者の表彰式も実施しました。



この通信は、G7宮崎農業大臣会合協力推進協議会事務局(県庁内)より、活動概要をお知らせするため、不定期で発行しています。皆様からの御意見等もお待ちしています。

【発行】

G7 宮崎農業大臣会合協力推進協議会事務局総務企画担当

(宮崎県総合政策部総合政策課G7宮崎農業大臣会合推進室内)

電話：0985-26-7964 FAX：0985-26-7956

E-mail：g7miyazaki@pref.miyazaki.lg.jp

